

事務事業名		加茂岩倉遺跡周辺整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系的	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	都市計画グループ	課長名	嘉本 俊一
	施策名	(32)地域文化の振興		担当者名	原 大輔	電話番号	0854-40-1064
	目的対象	市民	意図	文化芸術を普及・振興し、地域文化(地域の伝統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。		(内線)	2462
	基本事業名	(096)地域文化の保存継承		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 2 5 4 5 0 2	文化財施設整備事業 加茂岩倉遺跡周辺整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
平成25年度に、近接する中国横断自動車道尾道松江線の加茂岩倉パーキングエリア隣に、加茂岩倉遺跡公園駐車場及び交流広場が整備され、高速道路の利用者が直接遺跡を訪れることができるようになった。平成26年6月に策定された加茂岩倉パーキングエリア地域拠点整備事業整備計画では、加茂岩倉パーキングエリアと加茂岩倉遺跡ガイダンスを結ぶ遊歩道及び休憩所(東屋)の整備を行うこととしており、平成27年度、遊歩道・東屋の測量を行い、今後、詳細設計、整備工事を行うこととしている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ○遊歩道・東屋の測量業務を行った。 ・測量業務 5,455千円	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ○遊歩道・東屋の設計業務を行う。				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 整備施設数	箇所			0	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	①市民 ②市外の人	ア 雲南市人口	人			38,990	38,968
		イ 市外人口	千人			126,871	125,324
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
遺跡及び周辺施設の整備により、多くの見学者が加茂岩倉遺跡公園を訪れ、全国最多の銅鐸出土地である加茂岩倉遺跡公園の歴史・文化について理解関心が深まるようにする。	ア ガイダンス入館者数	人			5,598	6,000	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
加茂岩倉遺跡公園遊歩道・東屋測量業務5,455千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			5,100	2,300
		その他	千円				
		一般財源	千円			355	200
	事業費計 (A)	千円			5,455	2,500	
	人件費	正規職員従事人数	人			2	
延べ業務時間		時間			160		
人件費計 (B)		千円			626		
トータルコスト(A)+(B)	千円			6,081			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成25年度に、近接する中国横断自動車道尾道松江線の加茂岩倉パーキングエリア隣に、加茂岩倉遺跡公園駐車場及び交流広場が整備され、高速道路の利用者が直接遺跡を訪れることができるようになった。	遺跡の管理、積極的な活用に向けて、地域、ボランティアが担えるよう環境づくりに努めている。	「施設ガイドの後継者づくりをしてほしい」との要望あり。 銅鐸出土状況の復元展示や解説パネルの劣化が指摘されている。 加茂岩倉遺跡をPRする看板等の設置が要望されている。

事務事業名	加茂岩倉遺跡周辺整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	計画どおりに遊歩道・東屋の整備を行う他に、遺跡をPRする看板等の設置を行うことで、遺跡への来客数増加に期待ができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業がないため。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	工法等の検討を行い、最小限の事業費で対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人員で対応しているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益者は、全ての市民・市外住民を想定しており、一部の受益者に偏ったものではない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現段階では、遊歩道・東屋を整備するための測量業務を終えたところであり、遺跡への来客数の増加につながってはいないが、今後遊歩道・東屋の整備を行うことで、より多くの高速道路利用者が、この遊歩道を利用しガイダンスを訪れることを想定している。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
計画どおり、遊歩道・東屋の整備を完了し、より多くの来客者を見込む。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					